

### STATUS MONITOR UNIT

送信周波数 48.5 MHz

受信周波数 74.25MHz

## SMU744F

双方向CATV増幅器に取付けて、増幅器や電源供給器の作動状態をステイタスマニターセンター装置で監視できるようにするステイタスマニターユニットです。

### SMU744F 適合増幅器

機種選択スイッチを「A」に設定した場合

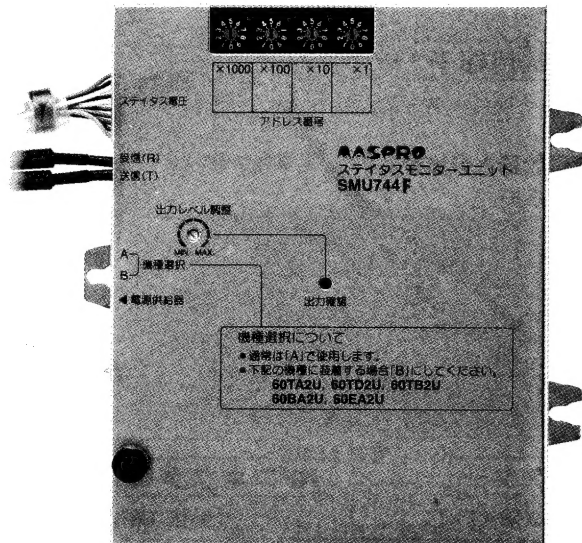
60TA2U-45, 60TD2U-45, 60TB2U-45,  
60BA2U-45, 60EA2U-45  
60TA2U-30, 60TD2U-30, 60TB2U-30,  
60BA2U-30, 60EA2U-30  
77TA-45, 77TD-45, 77TB-45,  
77BA-45  
77TA-30, 77TD-30, 77TB-30,  
77BA-30, 77EA-30

機種選択スイッチを「B」に設定した場合

60TA2U, 60TD2U, 60TB2U,  
60BA2U, 60EA2U

停電作動の監視が可能な無停電電源供給器

MPS603 CD2, MPS603SFT, MPS605SFT,  
MPS605SFT2, MPS605T2, MPS605E,  
MPS605E2, MPS615ACS



## 大規模共同受信に対応する機能

### 豊富な監視・制御機能

SMU744Fは、下りAGC作動レベル、内部温度、ハウジングのフタ開閉、電源電圧など13項目の監視・制御機能を備えています。

### 無停電電源供給器インバーター作動の監視

無停電電源供給器のインバーター作動監視端子と接続して、商用電源の停止によるインバーターの作動をステイタスマニターセンター装置で監視できます。

### 上りゲート開閉制御

双方向CATV増幅器の上りゲートの開閉制御を、CATVセンターでおこなうことができますから、上り回線の流合雑音を最小限に保つことができます。

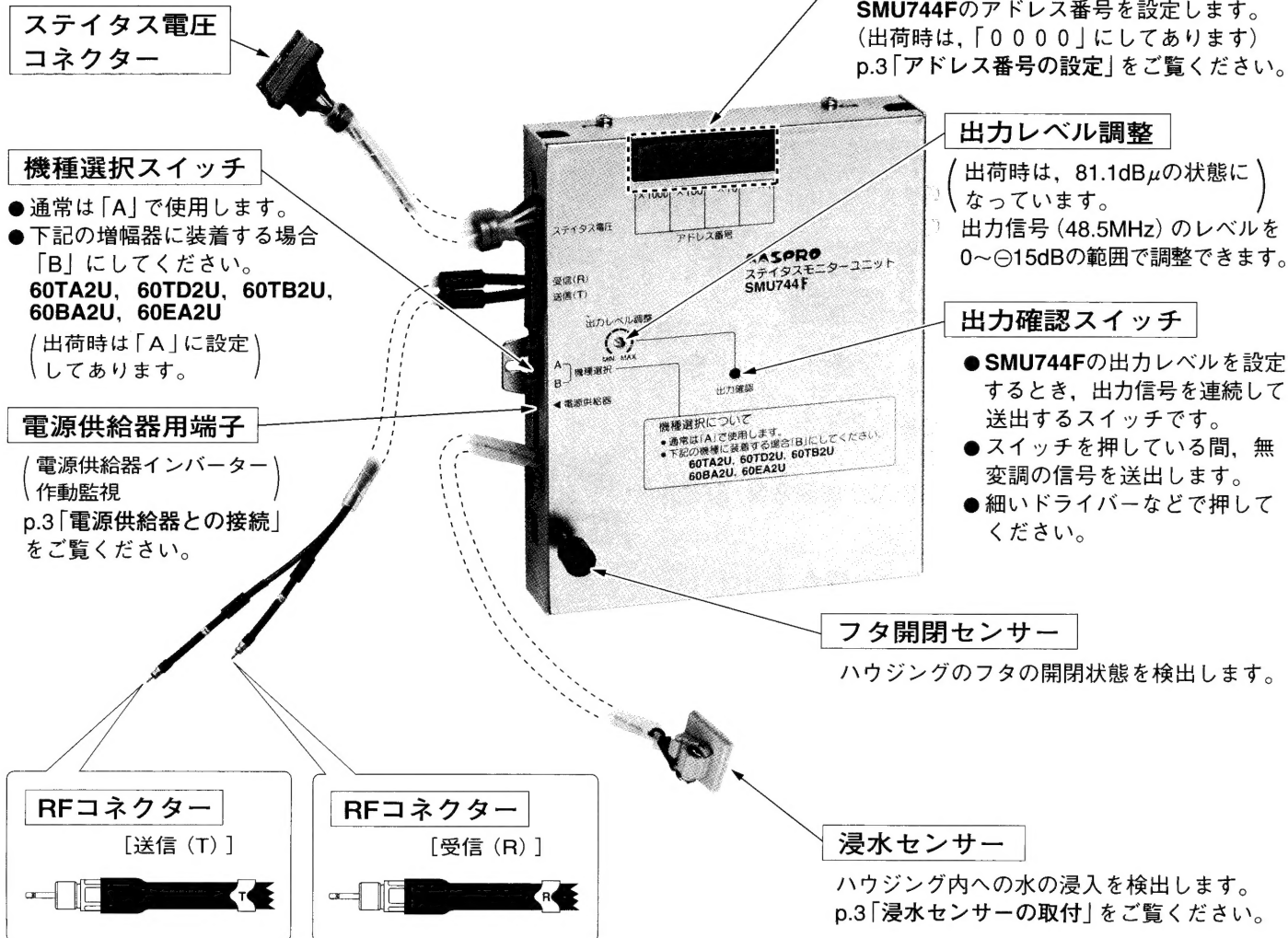
- ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みください。
- お読みになったあとは、保存してください。

マルチメディアの

**MASPRO**

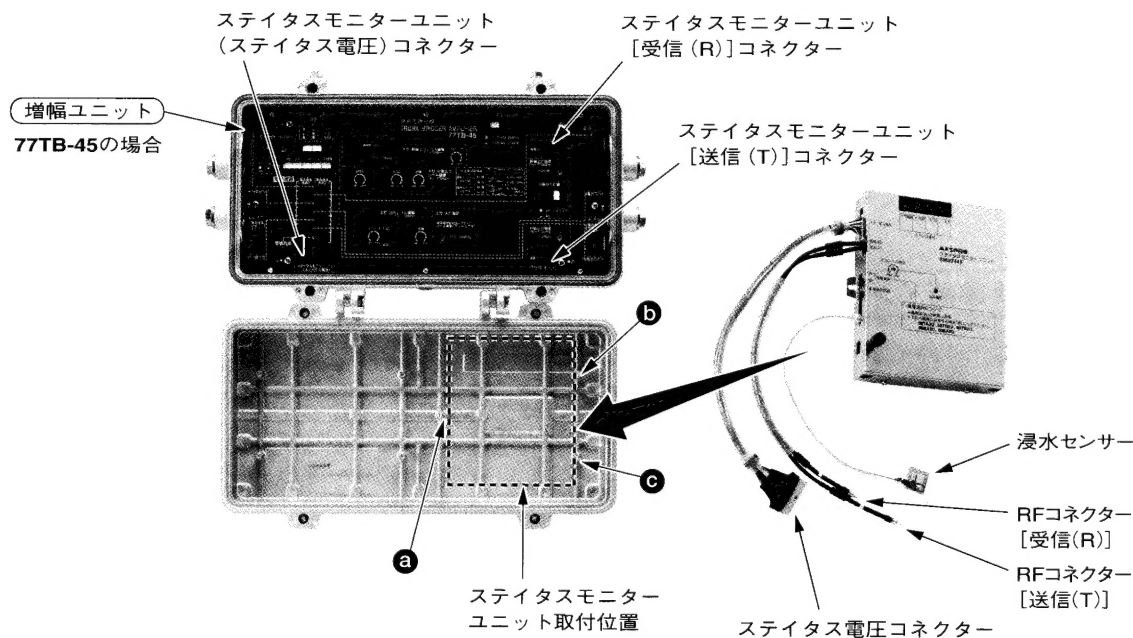
＝マスプロ電工＝

## 各部の名称と機能



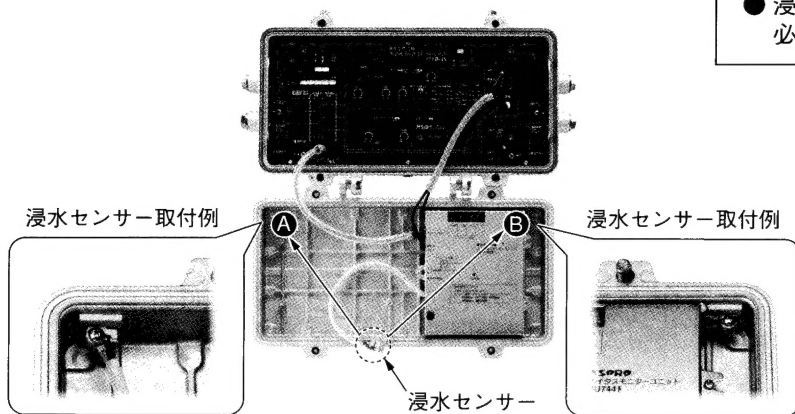
## ユニットの取付

- ① SMU744Fを増幅器のフタに取付け、固定ビス **a** **b** **c** を締付けます。締付トルク[0.6N・m (6.1kgf・cm)]
- ② 「ステイタス電圧コネクタ」を増幅ユニットの「ステイタスモニターユニット(ステイタス電圧)コネクタ」に接続します。
- ③ RFコネクタ[受信(R)], RFコネクタ[送信(T)]を増幅ユニットの「ステイタスモニターユニット[受信(R)]コネクタ」, 「ステイタスモニターユニット[送信(T)]コネクタ」に接続します。
- ④ 浸水センサーを取付けます。  
p.3「浸水センサーの取付」をご覧ください。



## 浸水センサーの取付

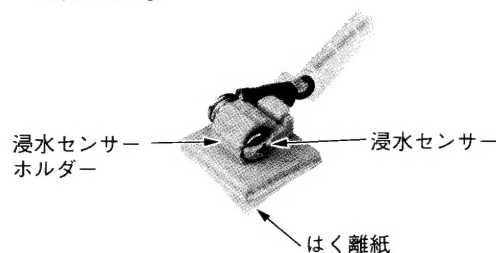
- 浸水センサーは、ハウジングをメッセンジャーワイヤーに取付けた状態で、低くなる方(AまたはBの位置)に取付けます。



## ご注意

- 浸水センサーは、ハウジング内部に接触しないように取付けてください。接触するとステイタスモニターが誤作動します。
- 浸水センサーを張付ける面の油分・水分・ホコリなどを、必ず拭取ってください。

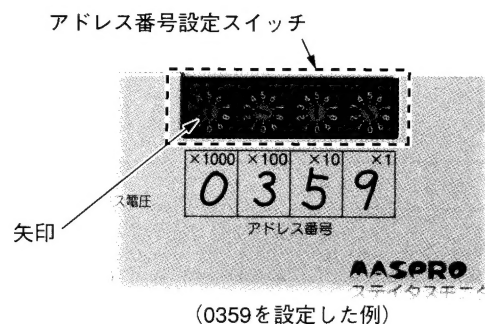
- 浸水センサーは、裏側のはく離紙をはがして張付けます。



## アドレス番号の設定

調整用ドライバーで「アドレス番号設定スイッチ」を回し、「矢印」を設定する「番号」に合わせます。

- アドレス番号は、0001～9999まで任意の番号を設定することができます。
- 設定後は、アドレス番号をユニットの表示枠内に書き入れておくと、後日メンテナンスのときに便利です。

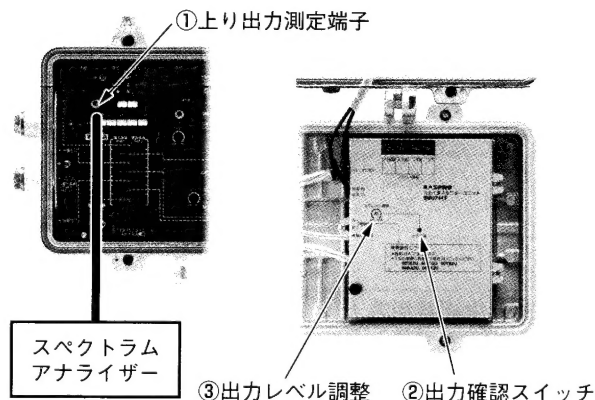


## 出力レベルの設定

### ご注意

出力レベルを調整するときは、調整用ドライバーを使用してください。無理に回すと、こわれることがあります。

- ① スペクトラムアナライザーを増幅器の上り出力測定端子に接続します。
- ② SMU744Fの「出力確認スイッチ」を押しながら、48.5MHzのレベルを測定します。
- ③ SMU744Fの「出力レベル調整」を調整用ドライバーで回して、運用レベルより10dB低い値に調整します。  
詳しくは、増幅器の取扱説明書の「標準入・出力レベル表」をご覧ください。



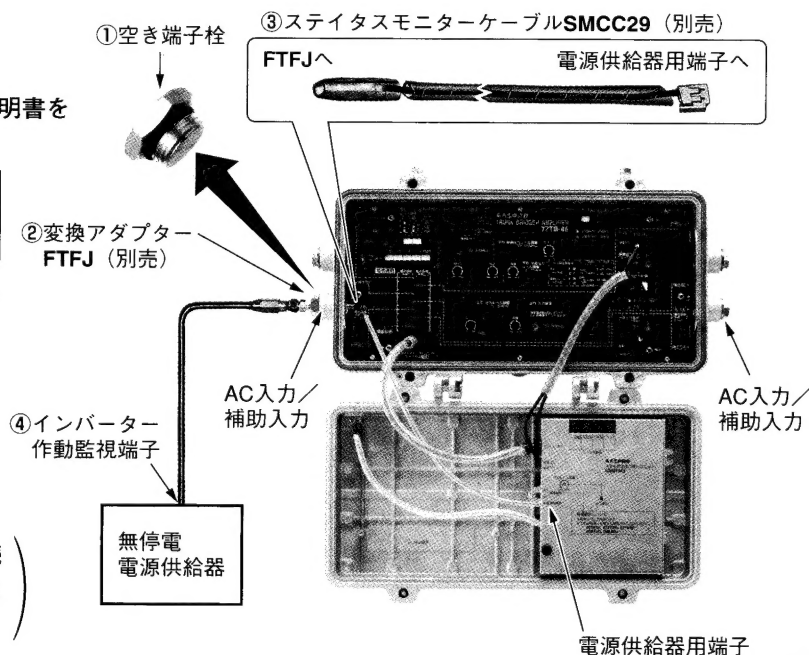
## 電源供給器との接続

無停電 電源供給器側の接続は、電源供給器の取扱説明書をご覧ください。

接続には、別売の変換アダプターFTFJとステイタスモニターケーブルSMCC29が必要です。

- ① 「AC入力/補助入力」の空き端子栓を外します。
- ② 別売の変換アダプターFTFJを取付けます。
- ③ 別売のステイタスモニターケーブルSMCC29をSMU744Fの「電源供給器用端子」と変換アダプターFTFJへ接続します。
- ④ 変換アダプターFTFJと無停電 電源供給器の「インバーター作動監視端子」を接続します。

(写真は左側の「AC入力/補助入力」を使用して接続した例です。右側の「AC入力/補助入力」も同様に使用できます。)



ステイタスマニターが正常に作動しないときは、次のチェックをしてください。

- アドレス番号は、正しいですか。  
アドレス番号設定スイッチのチェック
- 機種の選択は、正しいですか。  
機種選択スイッチのチェック
- 前段の双方向CATVアンプからステイタスマニターセンター装置までの上りゲート設定は、正しいですか。  
ステイタスマニターの上り回線に使用しているゲートが「開」になっているかチェック
- RFコネクター，ステイタス電圧コネクターは、正しく挿入してありますか。  
コネクターを抜き差ししてチェック
- ステイタスマニターケーブルSMCC29は、正しく接続してありますか。  
コネクターを抜き差ししてチェック
- RFコネクターの[受信(R)]と、[送信(T)]は、増幅ユニットに正しく接続してありますか。  
RFコネクターの(R)、(T)の表示と増幅ユニットの[受信(R)]、[送信(T)]が合っていることのチェック

以上の方法でもトラブルが解決できない場合、お近くの当社支店・営業所または工事営業部までお問い合わせください。

## 規格表

MASPRO

項目	規格
送信周波数	48.5MHz (占有帯域幅 ± 250kHz)
受信周波数	74.25MHz
変調方式	FSK (受信) / PSK (送信)
データ伝送速度	9600bps
搬送波ON・OFF比	50dB 以上
最大出力レベル	93dBμ
出力レベル調整範囲	0 ~ ⊖15dB 以上 (連続可変)
入力レベル範囲	39 ~ 61dBμ
スプリアス	⊖50dB 以下 ※1 (SMU744Fの出力レベルが93dBμのとき、10 ~ 55MHz、70 ~ 771.25MHzの帯域において)
電源供給器用端子入・出力形式	無電圧接点入力 ※2 (出力電圧 DC5 ± 0.25V、電流 13mA 最大)
電源	DC12V
外観寸法	158 (H) × 142 (W) × 46 (D) mm
質量 (重量)	約 600g

### 監視・制御

#### ① 2値監視項目

- ① 下り幹線増幅部 AGC / MGC 作動状態
- ② 上り幹線増幅部 AGC / MGC 作動状態
- ③ 停電作動状態
- ④ 上りゲート開閉 (2 回路)
- ⑤ フタ開閉
- ⑥ 浸水

#### ② アナログ監視項目

- ① 下り幹線増幅部 AGC 作動レベル
- ② 上り幹線増幅部 AGC 作動レベル
- ③ AC 電圧
- ④ DC 電圧
- ⑤ DC 電流
- ⑥ 内部温度

#### ③ 制御項目

- ① 上りゲート開閉 (2 回路)

※1 ステイタスマニターユニットを取付けた増幅器を含む出力特性です。

※2 無停電電源供給器のインバーター作動監視方式は、外部電源方式 (商用電源時: オープン、インバーター作動時: ショート) となります。

マスプロの規格表に絶対うそはありません。  
ご理解と信頼あるデータにご期待ください。

製品向上のため仕様・外観は変更することがあります。



本社 ☎ 470-0194 (本社専用番号) 愛知県日進市浅田町  
営業部 TEL名古屋 (052) 802-2244  
工事営業部 ☎ (052) 802-2225  
技術相談 ☎ (052) 805-3366  
インターネットホームページ www.maspro.co.jp

支店・営業所  
沖繩 (098) 854-2768 熊本 (096) 381-7626  
鹿児島 (099) 812-1200 長崎 (095) 864-6001  
宮崎 (0985) 25-3877 福岡(支) (092) 531-3861  
北九州 (093) 941-4026

下関 (0832) 55-1130  
徳山 (0834) 32-2954  
広島 (082) 230-2351  
松江 (0852) 21-5341  
岡山 (086) 252-5800  
松山 (089) 973-5656  
高知 (088) 882-0991  
高松 (087) 865-3666  
姫路 (0792) 34-6669  
神戸 (078) 843-3200  
大阪(支) (06) 6635-2222  
工事営業部 (06) 6632-1144  
京都 (075) 646-3800

津 (059) 234-0261  
岐阜 (058) 275-0805  
名古屋(支) (052) 802-2233  
工事営業部 (052) 804-6262  
豊橋 (0532) 33-1500  
静岡 (054) 283-2220  
松本 (0263) 57-4625  
福井 (0776) 23-8153  
金沢 (076) 249-5301  
新潟 (025) 287-3155

横浜 (045) 784-1422  
渋谷(支) (03) 3409-5505  
工事営業部 (03) 3499-5631  
秋葉原 (03) 3255-7335  
青戸 (03) 3695-1811  
八王子 (0426) 37-1699  
千葉 (043) 232-5335  
さいたま (048) 663-8000  
前橋 (027) 263-3767  
水戸 (029) 248-3870  
宇都宮 (028) 660-5008

郡山 (024) 952-0095  
仙台 (022) 786-5060  
盛岡 (019) 641-1681  
秋田 (018) 862-7523  
青森 (017) 742-4227  
函館 (0138) 53-7355  
札幌 (011) 782-0711  
釧路 (0154) 23-8466  
旭川 (0166) 25-3111  
北見 (0157) 61-0480